

近年著作

論文

1. 陳姿菁 (2020, Dec) 「Level-1 の日本語活動の試み—キー・コンピテンシーの『態度』を中心に—」『台湾日本語文学報』, 48, 271-295. (THCI)
2. 陳姿菁 (2020, Jul) 「OPI 的概念を取り入れた試み—非日本語専攻の初級学習者を例に—」『輔仁外語學報—語言、文學、文化』, 16, 57-83.
3. 陳姿菁 (2019, Dec) 「台湾の高校における第二外国語としての日本語の教室活動の試み—日本語パートナーズの支援を例に—」『台湾日本語文学報』, 46, 91-115. (THCI)
4. 陳姿菁 (2016, Dec) 「自己評価を用いた会話活動の可能性—第二外国語としての日本語授業を例に—」『台湾日本語文学報』, 40, 257-278. (THCI)
5. 陳姿菁 (2014, Mar) 「日本語学習において情意面からのアプローチは可能か—日本語会話の教育実践を例に—」『第 1 回アジア未来会議優秀論文集 アジアの未来へ—私の提案』 vol.1, Japan Book, 195-204.
6. 陳姿菁 (2014, Feb) 「「Can-do」を利用した道案内の試み—会話分析を通して—」, *Proceedings of the 18th Conference of The Japanese Studies Association of Australia: Peer-reviewed full papers (online)*, available from <<http://japaninstitute.anu.edu.au/projects/jsaa2013/papers>>, (accessed 2021-02-04).
7. 陳姿菁 (2013, Jun) 「複雑な気持ちを言語化する授業の可能性—「中級日本語会話」の学習者のフィードバックから—」『淡江外語論叢』, 21, 207-227.
8. 陳姿菁 (2013, Mar) 「『好きなタイプ』を語る「高級日本語会話」授業の実践—TAE の導入による変化の有無を中心に—」『東吳外語學報』, 36, 1-22.
9. 陳姿菁 (2012, Dec) 「『高級日本語会話』における思考力を高める試み—TAE 交差を中心に—」『台大日本語文研究』, 24, 175-200. (THCI Core) .
10. 陳姿菁 (2012, Dec) 「表現力の向上を目指した『高級日本語会話』における TAE 導入の可能性—学習者のフィードバックから—」『台湾日本語文学報』, 32, 235-260.
11. 陳姿菁 (2012 年, Aug) 「複雑な気持ちを言語化する会話授業の実践—「恋人に振られた」気持ちを例に—」, 『台湾日本語文学報』, 31, 273-294.
12. 陳姿菁 (2011, Dec) 「表現力の向上を目指す会話授業の試み—「高級日本語 会話」を例に—」, 『台湾日本語文学報』, 30, 441-464.
13. 陳姿菁 (2011, Jul) 「TAE 理論を日本語読解授業への応用—抽象思考の練習を中心に—」『日本語日本文学』, 36, 161-181.
14. 陳姿菁 (2011, Jul) 「中国語あいづちの習得研究—日本人中国語学習者対面 会話データから—」『輔仁學誌』, 44, 101-118.
15. 陳姿菁 (2005, Nov) 「日・台の電話会話における新たなターンの開始—あいづち使用の有無という観点から—」『世界の日本語教育』, 15, 41-58.

16. 陳姿菁 (2005,Oct) 「『話者の移行期』に現れるあいづち—日本語, 台湾の「国語」と台湾語を中心に—」『日本語科学』,18, 25-46.
17. 陳姿菁 (2002,May) 「日本語におけるあいづち研究の概観及びその展望」『第二言語習得・教育の研究最前線—あすの日本語教育への道しるべ— 言語文化と日本語教育』2002年5月増刊特集号, 日本言語文化学会研究会 222-235.
18. 陳姿菁 (2001,Jan) 「日本語の談話におけるあいづちの種類とその仕組み」『日本語教育』,108, 24-33.
19. 陳姿菁・小熊利江 (2001,Mar) 「話題に対する聞き手の心的態度が発話のあいづちとうなずきの出現に及ぼす影響」『人間文化論叢』,3, お茶の水女子大学大学院人化研究科 237-247.

得獎

1. Chen,T.(2020) A Study of Conversation Activities Using Self-assessment- An example of a Chinese as a Second Language Class -, The 5th Asia Future Conference, Alabang, Metro Manila & Los Baños Laguna, Philippines, January 11th, 2020. (Best Presentation Award)
2. 陳姿菁 (2013) 「日本語学習において情意面からのアプローチは可能か—日本語会話の教育実践を例に—」, 1st Asia Future Conference 2013, 2013年3月9日, タイ, バンコク. 優秀論文

專書等

1. 陳姿菁 (2021) 「第四章 教材設計與適性學習」『日語文教材教法—A1、A2 級的教學設計』(陳淑娟主編), 教育部分科教材教法專書編輯計畫: 素養導向系列叢書, 五南出版, 71-96.
2. 陳姿菁 (2021) 「第九章 資訊科技融入日語文教學」『日語文教材教法—A1、A2 級的教學設計』(陳淑娟主編), 教育部分科教材教法專書編輯計畫: 素養導向系列叢書, 五南出版, 193-210.

學會・研討會發表

1. 陳姿菁 (2021) 「オンライン日本語授業の試み—航空日本語を中心に」 2021 東アジア日本研究者協議会 第 5 回国際學術大会, 2021 年 11 月 27 日, オンライン.
2. 陳姿菁 (2021) 「学生自己評価と学習効果の一考察—ケーススタディを通して」 2021 年大葉大學應用日語學系學術研討會日語多元教學實踐與研究, 2021 年 10 月 30 日, 台湾, 彰化.
3. 陳姿菁 (2020) 「日本語会話授業の学習者の自己評価に影響を及ぼす要因の一考察」 2020 年度逢甲大學第 7 回国際學術シンポジウム—理論と実践のイノベーション: 外国語教育と文学教育—, 2020 年 10 月 17 日, 台湾, 台中.
4. Chen, T. (2020) A Study of Conversation Activities Using Self-assessment- An example of a Chinese as a Second Language Class -, The 5th Asia Future Conference, Alabang, Metro Manila & Los Baños Laguna, Philippines, January 11th, 2020. (Best Presentation Award)
5. 陳姿菁 (2019) 「日本語パートナーズの支援活動の試み—挨拶語の活動を例に」, 東アジア日本研究者協議会第 4 回国際學術大会, 2019 年 11 月 2 日, 台湾, 台北.
6. 陳姿菁 (2018) 「会話活動による自己評価の一考察」, 2018 逢甲大學第六屆外語文教學國際學術研討會未試之境: 新南向下的外國語文教學 (2018 Sixth International Conference at Feng Chia University Exploring the Uncharted Territories: Foreign Languages and Literature Teaching in Taiwan and Southeast Asia), 2018 年 10 月 20 日, 台湾, 台中, 63-74.
7. 陳姿菁 (2018) 「日本語翻訳授業における自己評価の一考察」, The 4th Asia Future Conference, Korea, Seoul, 2018 年 8 月 26 日, 525-534.
8. 陳姿菁 (2018) 「台湾の高校における第二外国語としての日本語学習の試み—日本語パートナーズの支援を例に—」, ヴェネツィア 2018 年日本語教育国際研究大会 (Venezia ICJLE 2018), 2018 年 8 月 3 日(五), イタリア、ヴェネツィア, (科技部補助 107-2914-I-424-003-A1)
9. 陳姿菁 (2018) 「Level-1 日語活動設計初探」, 十二年國教第二外語課綱教師研習: 啟動師生自主學習力, 2018 年 1 月 13 日, 台湾, 台北, 27-30.
10. 陳姿菁 (2017) 「日本語学習者における発話分析—OPI 的概念を取り入れた授業を例に—」, 2017 年第 11 回 OPI 国際シンポジウム—双方向教育における教師と学生のあり方, 2017 年 8 月 5 日, 台湾, 台北, 80-87.
11. 陳姿菁 (2017) 「Level-1」日語教學活動初探-以時間為例-, 2017 年第 36 屆課程與教學論壇—適性學習・跨域連結—, 中華民國課程與教學學會, 2017 年 6 月 3 日, 台湾, 台北, 52.

12. 陳姿菁 (2016) 「Level-1 飛行機に乗りましょう」,教育部 105 學年度多國語文與文化連結活動計畫北區日德法西教師研習營：培育十二年國教第二外語課綱教師研習營—以 CEFR 理念為主—「融合語言文化的 A1,A2 級課程設計與評量」,2016 年 12 月 4 日,台灣,台北, 55-57.
13. 陳姿菁 (2016) 「會話量を増やす會話授業の試み」, 2016 第五屆外語文教學國際學術研討會—逢甲與東南亞場域 (2016 Fifth International Symposium on Foreign Language and Literature Teaching - Feng Chia and Southeast Asia), 2016 年 10 月 22 日,台灣,台中, 23-34.
14. 陳姿菁 (2016) 「自律學習を促す翻訳授業の試み」, The 3rd Asia Future Conference, Japan, Kitakyushu, 2016 年 10 月 1 日, 日本, 北九州, 564-573.
15. 陳姿菁,盧碧蓮,芝田沙代子 (2015) 「Level-1 主題式學習設計初探—以新第二外語課綱為中心—」, 依據新課綱第二外語領域的中等教育教師培育研習：「我國第二外語師資培育政策座談會&主題式學習方案設計發表會」2015 年 12 月 26 日, 台灣, 台北, 77-89.
16. 陳姿菁 (2015) 「OPI 的概念を取り入れた會話授業の試み」, 第 10 回國際 OPI シンポジウム, 2015 年 8 月 2 日, 日本, 函館,88-91. (科技部補助 104-2914-I-424-006-A1)
17. 陳姿菁 (2015) 「自己評価リストを用いた會話活動の實踐」、Can-do 實踐研究國際シンポジウム—J-GAP のこれから—台灣、韓国、日本の発足・推進・今後—, 2015 年 3 月 7 日, 98—105, 台灣, 台北.
18. 陳姿菁 (2014) 「外国語學習に影響を与える要因の一考察—「第二言語習得」の學習者のフィードバックから—」, 2014 年度台灣日本語文學國際學術研討會—學習人口銳減時期之台灣日本語文教育課題—, 2014 年 12 月 20 日, 100-106, 台灣, 台北.
19. 陳姿菁 (2014) 「初級日本會話の運用能力の一考察—OPI の會話データを基に」2014 逢甲大學第四屆外語文教學國際學術研討會 (Fourth International Symposium on Foreign Language and Literature Teaching at Feng Chia University), 2014 年 10 月 18 日, 33—42, 台灣, 台中.
20. 陳姿菁 (2014) 「『意見表明』の談話分析—中国語母語話者とベトナム人の中国語會話を中心に—」, The 2nd Asia Future Conference 2013, Indonesia, Bali, 2014 年 8 月 23 日,1-10.
21. 陳姿菁 (2014) 「OPI 的概念を取り入れた第二外国語教育の試み」 The International Conference on Japanese language Education (SYDNEY-ICJLE 2014), Australia, Sydney, 2014 年 7 月 11 日. (科技部補助 103-2914-I-424-008-A1)
22. 陳姿菁 (2014) 「華語學習者的語言學習 APP 使用分析 —以越南華語學習者為中心— (An Analysis of the Use of Chinese Language-Learning Apps : Focusing on Vietnamese Learners of

- Chinese in Taiwan) 」, The eighteenth Global Chinese Conference on Computers in Education (GCCCE 2014), 2014 年 5 月 28 日, 234-235, 中国, 上海.
23. 陳姿菁 (2013) 「Can-doを利用した会話活動デザイン」, 2013年度国際シンポジウム—台湾における日本語教育の再発見—, 台湾日本語教育学会, 2013年11月30日, 83-93, 台湾, 台北.
 24. 陳姿菁 (2013) 「Can-do を利用した道案内の会話分析」, 2013 Japanese Studies Association of Australia Conference, Canberra, 2013 年 7 月 11 日, 豪州, キャンベラ. (國科會補助 102-2914-I-424-007-A1)
 25. 陳姿菁・陳文瑤・上條純惠 (2013) 「台湾日本語学習者における日本語使用場面調査—第二外国語の場合—」, 2013 年春季日語教學研究發表會, 2013 年 3 月 23 日, 台湾, 台北.
 26. 陳姿菁 (2013) 「日本語学習において情意面からのアプローチは可能か—日本語会話の教育実践を例に—」, 1st Asia Future Conference 2013, 2013 年 3 月 9 日, タイ, バンコク. 優秀論文受賞.
 27. 陳姿菁 (2012) 「台湾人日本語学習者におけるTAE会話実践授業のフィードバック—交差を中心に」, 2012年度台灣日本語文學國際學術研討會—日本文學・語學・社會文化間之協同研究—, 2012年12月15日, 84-90, 台湾, 台北.
 28. 陳姿菁 (2012) 「『高級日語会話』における実践研究—TAE交差を中心に」 2012年日本語教育国際研究大会 (ICJLE), パネルセッション, 2012年8月19日, 日本, 名古屋.
 29. 陳姿菁 (2012) 「TAEステップ式質的研究法による「好きなタイプ」を語る実践授業の可能性」, 東吳大學日本語文學系創系四十週年紀念「2012年日語教學國際會議」, 2012年4月28日, 85-99, 台湾, 台北.
 30. 陳姿菁 (2012) 「討論『喜歡的型』的會話課的實踐」, 2012 東吳大學外國語文學院校際學術研討會「專業外語之教學與研究」, 2012 年 3 月 24 日. 25-34, 台湾, 台北.
 31. 陳姿菁 (2011) 「身体感覺を言語化する TAE 理論の実践—「自分の話したいことを言語で表現する」会話授業の試み—」, 2011 年輔仁大学日本語文科学科国際シンポジウム「文化における身体」, 2011 年 11 月 19 日, 台湾, 台北.
 32. 陳姿菁 (2011) 「TAE ステップ式質的研究法による中級日本語会話の実践授業の可能性」台湾日本語文學會, 第 275 例會, 2011 年 10 月 15 日, 台湾, 台北.
 33. 陳姿菁 (2011) 「透過聚焦表達所感—TAE 理論在華語會話教學的實踐—」首屆中国聚焦及聚焦療法高峰论坛, 2011 年 9 月 18 日, 31-34, 中国, 上海.
 34. 陳姿菁 (2011) 「表現力の向上を目指す会話授業の試み」, 2011 Japanese Studies Association of Australia (JSAA) Conference (Melbourne), 2011 年 7 月 5 日, 豪州, メルボルン. (國科會補助 100-2914-I-424-009-A1)
 35. 陳姿菁 (2011) 「日本人中国語学習者のあいづち習得」, 2011 年台灣日語習得研究國際學術研討會, 2011 年 3 月 5 日, 68-72, 台湾, 台北.

36. 陳姿菁 (2010) 「日本人中国語学習者の会話習得—ターンの視点から」, 2010 年台灣日語習得研究國際學術研討會,2010 年 3 月 13 日, 100-104, 台灣, 台北.
37. 陳姿菁 (2009) 「日本人中国語学習者の会話習得—談話分析を通して—」, 台灣日語習得研究國際學術研討會議(東吳大學 LARP at SCU 研究工作坊第三回), 2009 年 3 月 15 日,34-39, 台灣, 台北.

教科書

1. 陳姿菁 (2021) 『誰都學得會的航空・旅遊日語』瑞蘭出版社
2. J-GAP TAIWAN 著 陳淑娟監修 (2015, Sep) 『日語 A2・B1 級的教材教法』(共著), 致良出版
3. J-GAP TAIWAN 著 陳淑娟監修 (2014, Sep) 『日語 A1・A2 級的教材教法』(共著), 致良出版